



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社

コード番号 6973 URL <https://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平澤 潤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 村本 篤 TEL 03-4241-5511

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 14,950 | △4.3 | 134 | △59.9 | 159 | △63.7 | 651 | 79.8 |
| 2024年3月期第1四半期 | 15,622 | 9.2 | 336 | 2.5 | 439 | 17.0 | 362 | 169.6 |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 808百万円 (△12.4%) 2024年3月期第1四半期 922百万円 (317.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 216.78 | - |
| 2024年3月期第1四半期 | 120.57 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 41,218 | 18,437 | 44.7 |
| 2024年3月期 | 42,271 | 17,794 | 42.1 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 18,437百万円 2024年3月期 17,794百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | - | 40.00 | - | 55.00 | 95.00 |
| 2025年3月期 | - | - | - | - | - |
| 2025年3月期（予想） | - | 55.00 | - | 55.00 | 110.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 29,000 | △8.0 | 500 | △39.3 | 420 | △54.8 | 400 | △40.4 | 133.08 |
| 通期 | 58,000 | △6.0 | 1,400 | △15.3 | 1,300 | △25.2 | 1,400 | 4.7 | 465.79 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年3月期1Q | 3,193,545株 | 2024年3月期 | 3,193,545株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期1Q | 187,014株 | 2024年3月期 | 188,174株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2025年3月期1Q | 3,005,757株 | 2024年3月期1Q | 3,005,883株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (重要な後発事象の注記) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、内需主導で緩やかな回復基調にあったものの、足元では勢いを欠き、足踏みの状態となりました。自動車や電子部品製造業を中心に景況感の改善が期待される一方で、急激な人件費上昇や物価高が企業の収益を圧迫し景気回復の鈍化へつながる懸念もあります。また、企業において、短期的には歴史的な円安への対応、長期的には深刻化する人口減少問題への対応が求められております。

世界経済は、ハイテク関連を中心に持ち直しの傾向が見られるものの、地政学リスクの高まり、米中貿易摩擦、中国経済の減速、為替変動など、先行きが不透明な状況が続いております。特に、米大統領選の結果次第では経済の分断が深まり、グローバル経済の先行きに対する不確定要素の増加が懸念されます。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、年初から受注が徐々に回復する兆しが見られましたが、足元では伸び悩んでおり、先行きは不透明感が強まっております。業種別に見ると、半導体製造装置やスマートフォン関連では景況感の改善が報じられておりますが、実際の需要にはつながっておらず、白物家電の需要は低迷が続いております。これらの業種は、年後半以降の回復が期待されております。

設備投資につきましては、形態別では、建設コストの増加などから建設投資が減少している一方、ソフトウェア投資が高水準で推移し、また、一時的に落ち込んでいた機械投資にも回復の兆しが見られます。

IT産業におきましては、生成AIやDX（デジタルトランスフォーメーション）関連をはじめとする企業のIT投資は引き続き活況を呈しており、採用難となっているシステムエンジニアの確保が業績を左右する状況となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は149億5千万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は1億3千4百万円（前年同期比59.9%減）、経常利益は1億5千9百万円（前年同期比63.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産に係る売却益2億5千万円及び投資有価証券に係る売却益2億5千万円を計上したことにより6億5千1百万円（前年同期比79.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(半導体デバイス事業)

当事業におきましては、白物家電向けは低調に推移し、自動車向けに関しては堅調な結果となりましたが、全体としては半導体不足の解消により好調であった前期には及ばない結果となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は96億5千9百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は3億5千6百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

(プリント配線板事業)

当事業におきましては、撤退を発表した自社国内製造品は新規顧客向け受注活動を停止したため、同製品の売上は減少しました。一方で中国メーカーと連携して行っている海外基板ビジネスは堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億6千4百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は2千2百万円（前年同期は3千万円の損失）となりました。

(産業機器システム事業)

当事業におきましては、市況は軟調となる中、FA機器の納期が改善し主要顧客への受注残出荷が進んだことにより、事業全体としては堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26億5千8百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は1億9千8百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

(システム開発事業)

当事業におきましては、建設系ITソリューション及び受注ソリューションはお客様の事業の活発化により利用料収入が増加したため好調、電力受託開発は横ばい、鉄道向け受託開発はお客様側での受注遅延の影響等により低調な結果となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8億4千9百万円（前年同期比9.1%増）、営業損失は5千万円（前年同期は4千3百万円の損失）となりました。

(その他)

協栄マリテック株式会社が行う、救命設備の販売・整備事業は、需要に一服感があり前年同期比で減収減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億1千7百万円（前年同期比35.4%減）、営業利益は1千6百万円（前年同期比58.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10億5千2百万円減少し、412億1千8百万円となりました。

- ・流動資産は、商品及び製品11億5千万円の減少、電子記録債権5億3千万円の減少、現金及び預金7億4千万円の増加、受取手形及び売掛金9千7百万円の増加等により、8億7千4百万円減少し、331億4千万円となりました。
- ・固定資産は、有形固定資産6千7百万円の減少、無形固定資産1千1百万円の減少、投資有価証券1千万円の減少等により、1億7千7百万円減少し、80億7千8百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金7億1千7百万円の減少、賞与引当金5億5千6百万円の減少等により、12億8千6百万円減少し、193億7千9百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金3億1千6百万円の減少、繰延税金負債5千7百万円の減少等により、4億8百万円減少し、34億円となりました。

この結果、純資産は、6億4千3百万円増加し、184億3千7百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の42.1%から2.6ポイント増加し、44.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が上期見通しを上回る結果となっておりますが、現時点では不確定な要素が多いため、2024年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の変更はいたしません。今後、業績予想に修正が必要となった場合には、直ちに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,319,260 | 5,060,129 |
| 受取手形及び売掛金 | 15,965,139 | 16,062,877 |
| 電子記録債権 | 3,028,195 | 2,497,391 |
| 商品及び製品 | 9,657,026 | 8,506,319 |
| 仕掛品 | 578,050 | 567,858 |
| 原材料及び貯蔵品 | 35,597 | 21,982 |
| その他 | 433,536 | 425,511 |
| 貸倒引当金 | △1,830 | △1,846 |
| 流動資産合計 | 34,014,974 | 33,140,224 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,111,733 | 1,044,586 |
| 無形固定資産 | 413,296 | 402,234 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,549,449 | 4,539,064 |
| 退職給付に係る資産 | 1,115,659 | 1,114,536 |
| 繰延税金資産 | 3,370 | 124 |
| その他 | 1,290,354 | 1,214,892 |
| 貸倒引当金 | △227,827 | △236,868 |
| 投資その他の資産合計 | 6,731,005 | 6,631,750 |
| 固定資産合計 | 8,256,034 | 8,078,572 |
| 資産合計 | 42,271,009 | 41,218,796 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,269,183 | 8,551,724 |
| 電子記録債務 | 1,868,623 | 1,650,545 |
| 短期借入金 | 3,910,640 | 4,580,280 |
| 1年内償還予定の社債 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,267,000 | 1,267,000 |
| 未払法人税等 | 575,336 | 88,642 |
| 賞与引当金 | 879,723 | 322,925 |
| 役員株式給付引当金 | 3,222 | 3,222 |
| 株式給付引当金 | 4,108 | 4,108 |
| 工事損失引当金 | 106,927 | 104,970 |
| 事業撤退損失引当金 | 870,058 | 795,845 |
| その他 | 1,711,829 | 1,810,679 |
| 流動負債合計 | 20,666,653 | 19,379,943 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 600,000 | 600,000 |
| 長期借入金 | 2,567,500 | 2,250,750 |
| 繰延税金負債 | 319,228 | 262,090 |
| 役員株式給付引当金 | 9,647 | 9,647 |
| 株式給付引当金 | 1,208 | 1,208 |
| 退職給付に係る負債 | 1,068 | 1,135 |
| 資産除去債務 | 125,440 | 125,705 |
| その他 | 185,657 | 150,417 |
| 固定負債合計 | 3,809,750 | 3,400,954 |
| 負債合計 | 24,476,403 | 22,780,897 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,161,819 | 3,161,819 |
| 資本剰余金 | 3,096,854 | 3,096,854 |
| 利益剰余金 | 8,723,608 | 9,207,692 |
| 自己株式 | △464,804 | △462,500 |
| 株主資本合計 | 14,517,477 | 15,003,866 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,317,262 | 2,335,256 |
| 為替換算調整勘定 | 650,686 | 800,136 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 309,179 | 298,639 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,277,128 | 3,434,032 |
| 純資産合計 | 17,794,605 | 18,437,898 |
| 負債純資産合計 | 42,271,009 | 41,218,796 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 15,622,389 | 14,950,224 |
| 売上原価 | 13,608,469 | 12,988,191 |
| 売上総利益 | 2,013,919 | 1,962,033 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,677,840 | 1,827,312 |
| 営業利益 | 336,078 | 134,720 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4,465 |
| 受取配当金 | 46,437 | 51,194 |
| 貸倒引当金戻入額 | 88,117 | — |
| その他 | 22,939 | 30,463 |
| 営業外収益合計 | 157,499 | 86,124 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21,324 | 19,823 |
| シンジケートローン手数料 | 8,469 | 5,991 |
| 為替差損 | 14,682 | 23,299 |
| 債権売却損 | 2,590 | 4,549 |
| その他 | 7,352 | 7,570 |
| 営業外費用合計 | 54,419 | 61,234 |
| 経常利益 | 439,158 | 159,610 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 250,154 |
| 投資有価証券売却益 | 69,622 | 250,958 |
| 特別利益合計 | 69,622 | 501,112 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 60 |
| その他 | — | 703 |
| 特別損失合計 | — | 764 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 508,781 | 659,958 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,220 | 66,017 |
| 法人税等調整額 | 127,129 | △57,639 |
| 法人税等合計 | 146,350 | 8,378 |
| 四半期純利益 | 362,431 | 651,579 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 362,431 | 651,579 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 362,431 | 651,579 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 426,714 | 17,993 |
| 為替換算調整勘定 | 142,766 | 149,450 |
| 退職給付に係る調整額 | △9,098 | △10,540 |
| その他の包括利益合計 | 560,381 | 156,903 |
| 四半期包括利益 | 922,813 | 808,483 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 922,813 | 808,483 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(事業撤退損失引当金)

プリント配線板製造事業の事業撤退に伴い、発生が見込まれる損失見込額を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 51,313千円 | 50,272千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|----------------|--------------|---------|------------|
| | 半導体 デバイス事業 | プリント 配線板事業 | 産業機器 システム事業 | システム 開発事業 | その他 | 合計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 10,298,622 | 1,798,186 | 2,563,704 | 779,219 | 182,656 | 15,622,389 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 10,298,622 | 1,798,186 | 2,563,704 | 779,219 | 182,656 | 15,622,389 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 41,331 | — | 4,365 | 21,543 | — | 67,240 |
| 計 | 10,339,953 | 1,798,186 | 2,568,070 | 800,762 | 182,656 | 15,689,629 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 526,418 | △30,523 | 220,494 | △43,138 | 39,465 | 712,717 |

(注) 各報告セグメントに属する主な商品及び製品又はサービスの内訳は次のとおりです。

「半導体デバイス事業」は、半導体、電子デバイス、電子材料等の購入・販売、保守サービス及びIC設計を行っております。

「プリント配線板事業」は、プリント配線板の製造・購入・販売を行っております。

「産業機器システム事業」は、FA・環境システム設備等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「システム開発事業」は、ソフトウェア開発・システム開発及び情報システム機器・電子機器・パッケージソフト等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「その他」は、船舶・航空機用救命器具類の整備及び購入・販売を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 712,717 |
| 全社費用(注) | △376,638 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 336,078 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|----------------|--------------|---------|------------|
| | 半導体 デバイス事業 | プリント 配線板事業 | 産業機器 システム事業 | システム 開発事業 | その他 | 合計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 9,659,087 | 1,664,796 | 2,658,471 | 849,916 | 117,951 | 14,950,224 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 9,659,087 | 1,664,796 | 2,658,471 | 849,916 | 117,951 | 14,950,224 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 2,534 | 19,853 | — | 22,388 |
| 計 | 9,659,087 | 1,664,796 | 2,661,006 | 869,770 | 117,951 | 14,972,612 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 356,233 | 22,980 | 198,635 | △50,931 | 16,323 | 543,241 |

(注) 各報告セグメントに属する主な商品及び製品又はサービスの内訳は次のとおりです。

「半導体デバイス事業」は、半導体、電子デバイス、電子材料等の購入・販売、保守サービス及びIC設計を行っております。

「プリント配線板事業」は、プリント配線板の製造・購入・販売を行っております。

「産業機器システム事業」は、FA・環境システム設備等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「システム開発事業」は、ソフトウェア開発・システム開発及び情報システム機器・電子機器・パッケージソフト等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「その他」は、船舶・航空機用救命器具類の整備及び購入・販売を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 543,241 |
| 全社費用(注) | △408,521 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 134,720 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。